

第1回ワークショップ

開催概要

日程: 令和元年11月22日(金)
時間: 午後3時～午後6時
場所: 茅野市役所7階704、705会議室
参加人数: 35名

当日のプログラム

- 1 開会(挨拶、開催趣旨説明、講師紹介)
- 2 ワークショップ
- 3 グループ発表
(暮らし、交通、観光、医療・福祉、経済、防災)
- 4 市長への結果報告
- 5 閉会

第2回ワークショップ

開催概要

日程: 令和元年12月20日(金)
時間: 午後3時～午後5時
場所: 茅野市市民活動センター「ゆいわーく茅野」
参加人数: 22名

当日のプログラム

- 1 開会
- 2 ワークショップ
- 3 グループ発表
(交通、観光、医療・福祉、経済、暮らし)
- 4 閉会

第3回ワークショップ

開催概要

日程: 令和2年1月27日(月)
時間: 午後3時～午後5時
場所: 茅野市役所8階大ホール
参加人数: 19名

当日のプログラム

- 1 開会
- 2 ワークショップ
- 3 グループ発表
(医療・福祉・経済、暮らし、交通)
- 4 閉会

講師の先生

岡村 久和(おかむら ひさかず)氏
亜細亜大学 都市創造学部 教授

- 日本IBMで国内外スマートシティビジネスを牽引
- 2017年 スマートシティに最も影響ある世界の50人に 選出

第1回ワークショップ

地域

あるべき姿

人口
増加

若者の
夢実現

市民が
地域を守る

プロジェクト

区役の
負担減

別荘市民と
の交流創出

人財
育成

交流の場
づくり

見守り
カメラ

観光

あるべき姿

自然が満
喫できる

観光客
増

自然と癒しを
求めて来訪

茅野＝
ハケ岳

プロジェクト

経済

あるべき姿

事業横断的
プロジェクト

自立した
産業形成

時間にゆと
りある生活

シニアが生き
生きと働ける

地域全体の
技術集積

プロジェクト

企業間
ネットワーク
構築

市内全域
に5G

ALL in
CHNO
アプリ

空き地
活用

交通

あるべき姿

安価に
移動できる

目的地までス
ムーズに移動

歩いて生
活できる

渋滞が
ない

車がなくても
生活できる

プロジェクト

ワンコイン
タクシー

温泉の
ハブ化

免許返納者
の車を理科
大生に

スマホ活用交通
システム

デマンド
タクシー

医療・福祉

あるべき姿

安心して
楽しく暮ら
せる

心身とも
に健康

健康寿命
世界一

長寿でも
幸せ

プロジェクト

教育に養生
を取入れる

健康増進
アプリ

予防医療
プログラム

社交
ダンス

健康アクション
ポイント

防災

あるべき姿

安心安全
な生活

災害が
ない

プロジェクト

防災
教育

間伐
植林

防災無線
がスマホで
見える

第1回ワークショップ(グループ発表)

交通

免許返納者の車を理科大生に貸し、高齢者を送迎させる

(課題等)

- ① 理科大生が交通手段がないことから理科大周辺から出ることができない
- ② 高齢者の交通手段がない

(解決策)

2つの課題を解決するために免許返納者の車を期間限定または無償で理科大生に貸し出し、高齢者が簡単に使えるようなアプリでの配送。

温泉のハブ化

(課題等)

免許がない方々が観光客の主流になってきている。

(解決策)

市内の公共温泉をハブとして活用し、バス・タクシー等の二次交通で移動。ハブから別荘地や観光地までは白タク等で移動できるようにする。

交通の充実

(課題等)

5限目が終わってから茅野駅に行くバスはあるが茅野駅から大学方面に帰るバスがない

(解決策)

8時、9時にそれぞれ1本ずつでも、大学方面に帰れるバスの充実

経済

時間にゆとりのある生活

(課題等)

ITの活用により、もっとコンパクトに仕事ができるのではないか。仕事の時間さえコンパクトにできれば、空いた時間を例えば介護や教育など別の使い道に回すことができる。

(解決策)

外国人労働者の受け入れ。また、そのためには市内全域にWi-Fiの整備が必要。

医療・福祉

健康寿命世界一の市

(課題等)

長野県の平均寿命は全国でも1番だが、健康寿命は平均

(解決策)

健康寿命世界一を実現するプログラム造成。茅野市にある自然、施設を活用したプログラムを専門に行うセンターの設置。自然や施設を回りながら健康になることができるまちづくり、いつまでも腰が曲がらない、自分の足で歩くことができるまちづくり

健康アクションポイント付与

(課題等)

健康寿命の延伸

(解決策)

運動に応じたポイントを年末に集計して、そのポイントに応じて商品券をもらえる仕組みの導入

地域

多様性を受け入れ、人がつながる「場」を創り出せる人材育成プロジェクト

(課題等)

誰かとつながりたいという人はたくさんいるが、そのための「場」が

(解決策)

空き地や市内人材を活用した多様性を受け入れられるような人材を育成するプロジェクトの立ち上げ

防災

間伐材を活用したトイレ整備

(課題等)

市内の幹線道路は沿線に木が伸びすぎている

(解決策)

間伐の実施。また、間伐材を活用した駅周辺トイレの整備

第2回ワークショップ(グループ発表)

交通

(目指すべきゴール)

エリアごとに最適化された交通手段と、交通手段ごとに最適化されたプラットフォームの構築

(具体的プロジェクト)

- ・市内をエコライン沿いの温泉施設までの市街地エリア、そこから上の別荘エリアに大きくエリア分け
- ・自動運転の時代も来ることを踏まえたエリアごとの交通手段を確保

茅野市まで: 鉄道や高速バスなど

市街地エリア: 路線バスやタクシーなどを活用したライドシェア

別荘エリア: 白タク特区として住民等の相乗り

- ・市街地エリア内: 3つのフェーズに分けてライドシェアの仕組みを展開

フェーズ1: 理科大生を中心とした展開

フェーズ2: 市民に向けた展開

フェーズ3: 子ども、お年寄りに向けた展開

- ・別荘エリア: 白タク特区による相乗りの仕組みを展開

観光

(目指すべきゴール)

世界中から訪れる観光客で賑わう“ハヶ岳+蓼科”世界ブランドの確立

住んでよかったと誇りに思える茅野市

(具体的プロジェクト)

- ・スマホ一つで外国人一人、女子一人でもストレスなく滞在を楽しめるシステム作り
- ・観光コンシェルジェの育成
- ・ハヶ岳を眺めながら駅で温泉につかれる温泉施設

医療・福祉

(目指すべきゴール)

笑顔になれるまち茅野市

- ・たとえ体が健康であっても、生きていても楽しくなければ健康とは言えない。
- ・一方で、病気や障害があっても楽しく生きている人もいる。

(具体的プロジェクト)

- ・健康寿命向上プログラムや予防医療プログラムの実施
- ・障害や病気があっても楽しいと思える場所、活躍できる場所の確保
- ・晴天率の高さや、標高の高さ、そして空気の綺麗さを活かしたプログラムの実施

経済

(目指すべきゴール)

ハヶ岳が人間ドックの聖地になることで経済が循環するまちになる

(具体的プロジェクト)

- ・茅野市を人間ドックの聖地に
- ・健康産業を副業西、個人が稼げる環境を整備する
- ・医療データとIT技術者の連携
- ・IT技術者等の住まいの確保
- ・健康エリアへの交通手段の確保
- ・ものづくりによる予防医療の推進

暮らし

(目指すべきゴール)

関係人口の増加

(具体的プロジェクト)

- ・コミュニティづくりの推進
- ・デジタルを活用した暮らしやすい環境の整備

第3回ワークショップ(グループ発表)

交通

(目指すべきゴール)

エリアごとに最適化された交通手段と、交通手段ごとに最適化されたプラットフォームの構築

(具体的プロジェクト)

・別荘にきているお年寄り(第一世代)の方が自由に、気軽に移動できる交通手段の確保

医療・福祉・経済

(目指すべきゴール)

健康寿命世界一

※単なる平均寿命ではなく、子どもからお年寄りまでが心身ともに健康であること

(具体的プロジェクト)

・人間ドックは八ヶ岳で受けよう。旅行型健診の提案
・旅行型検診のデータを蓄積できるヘルスラボの建設
・子どもの目線にも立って、精神面での健康を取り戻せる場の提供

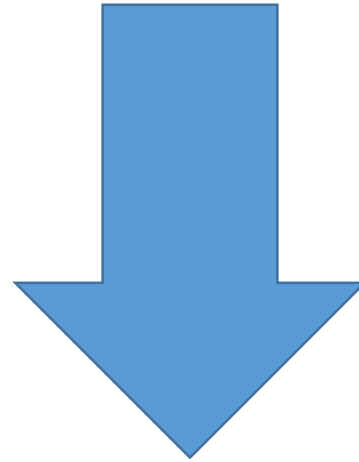
暮らし・観光

(目指すべきゴール)

八ヶ岳の世界ブランド化(観光も暮らしも良くなること)
・住んでよかったと誇りに思えるまち。

(具体的プロジェクト)

・茅野市の良いところをもっとブラッシュアップ。まちが持っている素材、良いところを掘り出してプロモーションする。
・Wi-Fi環境の整備。5Gの取り込み



新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から
各グループの代表者等からなるコアメンバー会議にて深掘り

コアメンバー会議

日程:3月9日、3月30日、4月17日、4月21日、4月26日、5月2日、5月13日、7月8日、7月13日、11月27日、12月7日(11回)

内閣府打ち合わせ

日程:4月22日、7月15日、7月27日

先進地視察(会津若松市)

日程:9月28日、9月29日




茅野市の自然、別荘、施設を活かした
テレワーク
ワーケーション

- ▶ 企業誘致と働く場所の拡大
- ▶ 様々な働き方の選択肢
- ▶ 関係人口(来訪者)増加



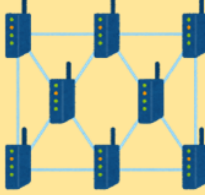
オンデマンド交通
交通最適化(MaaS)

- ▶ オンデマンド交通による利便性向上
- ▶ ハブ&スポークによる交通最適化




キャッシュレス
地域ポイント

- ▶ キャッシュレスの促進
- ▶ 地域ポイントによる結の醸成
- ▶ 行政ポイント付与
- ▶ ポイント活用による市民活動活性




防災・見守りへの
通信技術活用

- ▶ LPWA通信技術を活用した防災
- ▶ LPWA通信技術を活かした見守り
- ▶ 通信技術の適材適所化



医療・介護

- ▶ 遠隔診療 ▶ バイタル自動取得
- ▶ デジタルナース ▶ 遠隔の患者見守り
- ▶ ウェルネスカルテ ▶ フレイル対策



ALL茅野アプリ
デジタル行政サービス

- ▶ 交流、情報のマッチング
- ▶ 結の醸成
- ▶ 行政サービスのデジタル化